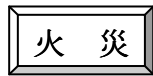


平成 23 年上半期 火災・救急・救助統計

上半期（平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日まで）の火災・救急・救助の各統計は次のとおりです。



住宅火災での出火原因 1 位「放火」、2 位「こんろ」

本年上半期に市内で発生した建物火災 37 件のうち住宅火災は 26 件でした。

本年の住宅火災の出火原因の 1 位は「放火」でした。深夜や未明に、建物の周囲・駐車中の車などが狙われますので、対策としては、家の周りは外灯をつけるなど明るくし、燃えやすいものを置かないなどが必要です。また、例年 1 位となっている「こんろ」は、本年は 2 位でした。調理後に火を消し忘れたことや、調理中にこんろから離れたことにより出火に至っています。

火災概況

▲は減を示す

区分		平成 23 年上半期	平成 22 年上半期	比 較
火災件数合計（件）		73	50	23
火災種別	建物火災	37	33	4
	うち住宅火災	26	23	3
	林野火災	11	5	6
	車両火災	9	4	5
	船舶火災	0	0	0
	その他の火災	16	8	8
死者（人）		3	3	0
負傷者（人）		7	2	5

出火原因

▲は減を示す

火災原因	平成 23 年上半期		平成 22 年上半期		比 較	
	全体	住宅	全体	住宅	全体	住宅
たばこ	0	0	4	1	▲ 4	▲ 1
こんろ	5	4	4	4	1	0
かまど	0	0	1	0	▲ 1	0
風呂かまど	2	1	1	1	1	0
ストーブ	3	2	3	2	0	0
煙突・煙道	2	3	1	1	1	2
排気管	0	0	1	0	▲ 1	0
電気装置	0	0	1	0	▲ 1	0
電灯・電話等の配線	1	0	1	1	0	▲ 1
配線器具	1	1	0	0	1	1
火あそび	2	0	1	1	1	▲ 1
マッチ・ライター	1	0	3	2	▲ 2	▲ 2
たき火	16	1	3	0	13	1
溶接機・切断機	1	0	1	0	0	0
灯火	2	2	2	1	0	1
放火	11	5	3	1	8	4
放火の疑い	2	1	4	1	▲ 2	0
その他	3	0	5	2	▲ 2	▲ 2
不明・調査中	21	6	11	5	10	1
合計	73	26	50	23	23	3

救 急**軽症患者が全体の５０％を超える**

上半期に発生した救急出動件数は 6,184 件でした。事故種別では急病が 3,842 件と最も多く、全体の約 62％を占め、次いで一般負傷が 952 件（約 15％）、交通事故が 615 件（約 10％）でした。 昨年同期と比較すると、出動件数は 332 件、搬送人員は 226 人増加しました。

救急出動全体の約 53％が軽症患者でした。軽いけがや病気（擦り傷、歯痛、風邪など）の場合などは、自家用車やタクシーなどでかかりつけの病院へ行きましょう。それが本当に救急車を必要としている貴重な命を救うことになります。救急車の適正利用に御協力をお願いします。

救急概況

▲は減を示す

区 分	平成 2 3 年上半期	平成 2 2 年上半期	比 較
出 動 件 数	6, 1 8 4	5, 8 5 2	3 3 2
搬 送 件 数	5, 6 8 8	5, 4 3 0	2 5 8
不 搬 送 件 数	4 9 6	4 2 2	7 4
搬 送 人 員	5, 7 8 3	5, 5 5 7	2 2 6

救 助**出動件数が 2 8 % 減少**

上半期に市内で発生した救助件数は 4 4 件でした。その主な内訳は、交通事故 2 7 件で全体の約 6 1％を占め、次いでその他の事故 6 件、水難事故 4 件、建物等による事故 3 件、火災 3 件、機械による事故 1 件でした。

昨年同期と比較すると、出動件数は 2 8％（１ 7 件減）の減少となりました。

出動件数 4 4 件の内、現場で活動した件数は 2 7 件で 3 2 人を救助しました。活動件数に入っていない 1 7 件については、救助隊が到着するまでに自力脱出したり、付近住民等により救出されたものです。

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成 2 3 年上半期	平成 2 2 年上半期	比 較
出 動 件 数	4 4	6 1	▲ 1 7
活 動 件 数	2 7	3 3	▲ 6
救 助 人 数	3 2	3 2	0

修正箇所

救助概況

▲は減を示す

区 分	平成 2 3 年上半期	平成 2 2 年上半期	比 較
出 動 件 数	4 4	6 1	▲ 1 7
活 動 件 数	2 7	3 4	▲ 7
救 助 人 数	3 2	3 3	▲ 1

黄色部分を 1 減。